

- A. 【日 時】 2012 年 5 月 23 日 水曜日(17:30～19:30)
- B. 【場 所】 建築会館 会議室
- C. 【出席者】 松原斎樹(主査)、榎究(幹事)、辻村壮平(幹事)、
秋田剛、大井尚行、大石洋之、長野和雄、宗方淳 順不同・敬称略
- D. 【配布資料】 2011 年度 第 5 回環境心理生理運営委員会議事録(案)
2012 年度 第 1 回環境工学本委員会メモ
2012 年度 第 1 回環境工学本委員会資料抜粋

E. 【報告事項】

1. 2011 年度 第 5 回環境心理生理運営委員会議事録(案)の確認

前回議事録(案)の確認を行った。記載内容について修正に関する指摘・意見が特になかったため、正式な議事録として承認された。

2. 2012 年度 第 1 回環境工学本委員会の報告

第 1 回環境工学本委員会には松原主査の代理で榎幹事に出席して頂いた。本委員会の内容に関して、特に環境心理運営委員会に関連の深い事項について榎幹事から報告があった。

■ 2013 年度大会の開催場所及び日時について

2013 年度大会は 8 月 30 日から 9 月 1 日に北海道大学で開催される。

■ 2012 年度大会について

本年度大会の発表題数は全体で 6779 題、環境工学分野で 1285 題（昨年比+32 題）である。全体の OS は 19 テーマとなっており、環境心理生理分野では「知的生産性研究の方法論と課題」というテーマで OS を実施する（6 編）。また、以下の日時に研究協議会及び研究懇談会が開催される。

- ・研究協議会「エネルギーとライフスタイルのあり方」 9 月 13 日（木）13:30-17:00
- ・研究懇談会「節電から考えるこれからの建築」 9 月 12 日（水）13:30-17:00

■ 日本建築学会賞（論文）受賞記念講演について

「視覚特性の個人差に対応した視環境計画法に関する研究」というタイトルで、奈良女子大の井上容子先生が受賞される。

■ 非公式行事等（大会期間中に委員会を開催する場合）の予定について

大会期間中に委員会を開催する場合、7 月 6 日（金）までに事務手続きを行わなければならない。

■ 2009-2011 年度調査研究委員会活報告会 代議員等による委員会活動評価

大学以外の委員が少ない

横断的連携の必要性

これに対する回答を本委員会委員長が出す。

■ 調査研究委員会の活性化に資する予算配分方法の再構築について

2010 年度、2011 年度の環境工学委員会の予算消化率はそれぞれ 67%、85%であり、全ての予算を消化することが望ましい。予算配分に関しては、会費収入連動型の予算配分

について学術推進委員会幹事会による検討が行われており、6月30日まで意見を募集している。

■ 東日本大震災関連

2012年3月12日にAIJ環境工学シンポジウム「東日本大震災に学ぶこれからの環境工学」が開催され、参加者は159名であった。質疑応答では特に照明関係のものがクローズアップされた。

■ AIJ-ES（旧アカデミックスタンダード）の環境基準総則の改定について

小改訂（基準の考え方は変わらず、軽微な数値の変更や文章の加筆・修正程度）の場合、シンポジウム・パブリックコメント・講習会の一部を省略する場合は文書で環境基準作成小委員会に申し入れする。AIJ-ESの新規作成において、講習会を開催予定した場合は取り下げることは絶対にできないので、講習会の開催を予定する場合は十分に注意が必要である。AIJ-ESについては、最大5年で見直しをすることが決まっている。

■ 環境心理生理チュートリアル開催の承認について

第12回環境心理生理チュートリアルの開催企画が本委員会で承認された。

■ ホームページを通じた積極的な情報発信のお願い

環境工学本委員会で比較的簡単に情報を掲載できるようなシステムを開発中である。運営委員会でホームページを通じた情報発信の依頼があり、どのようなコンテンツを掲載するかなどの議論が求められている。これについては、委員の研究室紹介のようなページがあっても良いのではないかという意見が本運営委員会で挙がった。

■ AIJ デジタルライブラリーによる大会研究集会資料の公開方針について

2012年度より、希望のあるものは会員への無料公開を行い、公開時期や公開方法（全文あるいは部分的など）も選択できるようになる。

3. 建築環境心理生理学術用語集に関する報告

以前から刊行企画を予定していた「建築環境心理生理学術用語集」がようやく出版社（彰国社）に入稿できる形を整えた。当初WG（小委員会）での作業から相当変わっていることもあり、環境心理生理運営委員会の名前で刊行されるため、現在の運営委員会で入稿前のチェックを行うことになった。建築計画と心理関係は大野委員と古賀誉章先生に、光関係を宗方委員、音関係は上野佳奈子先生、熱空気・複合・生理関係は長野委員にチェックを依頼している。なお、5月末頃に彰国社にゲラ作成を依頼し、6月頃にはゲラ校正を行う予定である。

4. 各小委員会からの本年度の活動実施計画の報告

2012年度の各小委員会の活動計画を各小委員会幹事が報告した。なお、本年度は各小委員会設置期間の最終年度であり、来年度以降の再設置について検討が必要である。

○ 環境心理小委員会

環境心理小委員会の幹事である大石委員が本年度の活動計画を報告した。2012年9月に第12回環境心理生理チュートリアルを開催する予定であり、その内容について小委員会で議論を行っている。6月6日に第2回小委員会を開催する。

○ 感覚・知覚心理小委員会

感覚・知覚心理小委員会の幹事である秋田委員が本年度の活動計画を報告した。2012

年6月2日に第11回感覚・知覚心理シンポジウムを開催する。

○ ヒューマナイズング小委員会

ヒューマナイズング小委員会のメンバーが欠席していたため、本年度の活動計画についての報告はなかった。

F. 【審議事項】

1. 環境心理生理運営委員会のホームページに関して

環境工学本委員会において、ホームページを通じた積極的な情報発信が求められており、どのようなコンテンツを掲載するかなどについて議論を行った。

楨委員から運営委員会の委員の研究室紹介のようなページが掲載されているとよいのではないかという意見が挙がった。また、長野委員から学生が将来像（就職に関する情報など）をイメージできるようなコンテンツがあると良いという意見もあった。現在、本運営委員会のホームページの更新は幹事の辻村が行っている。

2. 次回の環境心理生理運営委員会の開催日程

次回の本運営委員会の開催日時について、AIJ 大会期間中に開催するかどうかを議論し、大会期間中に運営委員会を開催することに決まった。審議事項については、本年度は各小委員会設置期間の最終年度であり、来年度以降の再設置に関する検討を議題とする。

G. 【次回の開催日程】

2012年9月13日(木) 11:45 (AIJ 大会セッション終了後) ~13:30 予定